

造影剤使用に関する説明と同意書

(「単純のみ」の方、RI (SPECT)の方は記入不要)

あなたの検査では「造影剤」という静脈に注射する検査薬の使用が望ましいと考えられます。

以下の内容をよくお読みの上、下記問診票の該当するものに☑印を付け、ご署名をお願いします。なお、同意いただいた場合でも、医学的な理由などにより、当院担当医の判断で造影剤を用いない場合もあります。

1 造影剤について……

- 1) 造影剤は血管や臓器およびその周辺の構造をより明瞭に映し出す薬剤で、病気の有無や性質、進展範囲などをより正確に評価するために使用します。
- 2) CTでは『ヨード造影剤』、MRIでは『ガドリニウム造影剤』を使用します。CTでは造影剤の注射中に、全身が熱く感じるがありますが、心配ありません。動かないようにして下さい。
- 3) 喘息で治療中、妊娠中、以前に造影剤で重篤な副作用があった方には原則として造影剤は使用しません。
- 4) 高度の腎機能障害がある場合、『ガドリニウム製剤』では腎性全身性線維症(NSF)と呼ばれる病変が生じることがあり(腎不全症例の3-5%)、また、『ヨード造影剤』では腎機能障害が悪化する可能性がありますので、原則として腎機能の悪い方には造影剤は使用しません。
- 5) 造影剤は基本的には安全な薬剤ですが、下記のような副作用が生じる可能性があります。これらの副作用は予測不可能で、以前に造影剤で副作用の無かった方でも生じることがあります。

2 副作用について……

- 1) 軽い副作用:かゆみ、じんましん(発赤)、下痢、はきけ・嘔吐、頭痛など。これらの副作用は0.1~1%程度の頻度で起こりますが、通常は特に治療を必要とせず検査当日にはほぼ治まります。
- 2) 重篤な副作用:血圧低下(ショック)、意識消失、呼吸困難(喉頭浮腫)、痙攣発作。発生する頻度は、0.004%(2.5万人に1人)とわずかですが、治療が必要で、重症になる可能性もあります。当院では速やかに対応できるように万全の体制を整えて検査を行っています。入院治療が必要となる場合には、連携病院に紹介の上、治療いたします。なお、他の多くの薬剤と同様、非常に稀に(0.00025%, 40万人に1人)死亡例の報告もあります。
- 3) 遅発性副作用:ヨード造影剤では、まれに検査後数時間~数日後に発疹等が生じることがあります。通常は治療を必要とせず治まりますが、心配な場合は当院担当医や主治医にご相談下さい。
- 4) その他:注射する際に造影剤が血管外に漏れて(約0.3%, 300人に1人)、注射部位の腫れや痛みを生じることがあります。通常は時間がたてば吸収されるので心配ありません。多く漏れた場合などで、処置が必要となることもあります。

問診票

安全に造影検査を行うため、以下の項目について、該当するものに☑印を付けて下さい。

- 喘息: なし あり → (治療中ですか いいえ はい)
- 食物・薬のアレルギー: なし あり → (具体的に)
- 腎臓病はありますか: なし あり → (詳しく)
- 過去に造影剤を使用したことはありますか
- CTの造影剤: 不明 なし あり → 副作用は? なし あり(詳しく)
- MRIの造影剤: 不明 なし あり → 副作用は? なし あり(詳しく)
- 妊娠中ですか(女性のみ) いいえ はい 可能性あり
- 授乳中ですか(女性のみ) いいえ はい → 24時間授乳はお控え下さい

◎造影剤の使用について 同意します 同意しません(どちらかに☑印を付けて下さい)

ご署名欄

患者さま署名: _____ 年 月 日 医師署名: _____